



申  
28  
号

## 2022 年度夏季手当等に関する申し入れ 第1回団体交渉行う！

組合

### 私たちの要求の満額回答を強く求める！

- ◆新型コロナウイルス感染リスクが高まり続ける中、自らの感染リスクも抱えながらも対策等を講じ、社会インフラとしての鉄道事業の使命を全うし、安全・安定輸送に徹し続けてきた。
- ◆2021年度期末決算では運輸収入や不動産・ホテル事業は増収増益、単体における営業収益は前年度比2400億円増の1兆4241億円、営業利益、当期純利益も損失を計上したものの増回復した。2022年度の業績は黒字予想だ。記録的な大雪の中の雪害対応、3月の福島県沖地震の対応および復旧、GW 期間においても奮闘し、新幹線・在来線の利用状況も前年比217%だった。
- ◆コロナ禍においても収益を確保し続け、コストダウンに向き合い、業績回復の基盤をつくり出しているのは、組合員・社員の日々のたゆまぬ努力であることは言うまでもない！
- ◆ウクライナ情勢を受け物価上昇が止まらない。期末手当は生活給の要素が高く収入増を求める組合員の声。
- ◆環境の変化や矢継ぎ早に示される施策等により労働密度が高まり続けている労働実感・実態であるにも関わらず、賃金が上がらないことに対する不満や不信、将来を不安視し収入増を求める組合員の声。
- ◆この間の賃金交渉において、会社は「社員の生計費水準を考慮する」「物価上昇を把握している」と回答している。職場の努力により黒字予想が出ていることに踏まえれば、**夏季手当において物価上昇・インフレに直面する生活費水準に考慮することは、組合員・社員に対する会社の責務だ！**
- ◆日々のたゆまぬ努力に対して、会社は赤字・コロナ禍だからと我慢を強いるかのような低額回答が要因となり、人材の流出が止まらなると認識し、警告を行ってきた。

**人材定着・確保の観点と、「生活実感」「労働実感」とたゆまぬ努力を続ける組合員・社員と家族の奮闘に報い、モチベーション維持・向上を実現することが必須であることから満額回答を強く求める！**

会社

- 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を徹底しながら、安全・安定輸送、品質の高いサービスの提供、地震復旧など、当社の社会的使命を果たしていることに感謝する。
- 期末決算としては過去2番目に低い営業収益・運輸収入。本業の力を示す営業利益は、2期連続の赤字を計上し、昨年秋の業績予想を下回る極めて厳しい結果となった。
- 供給面での制約、原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分留意する必要がある。
- 人々のライフスタイル、働き方、価値観の変容を持って鉄道のご利用はコロナ禍前の水準には戻らないとの認識。
- 今年度は復活の年として、グループの総力を上げて黒字化を実現しなければいけない年である。
- 不断の努力を重ね、企業の成長を実現することで社員の働きがいや労働条件の向上、そして社員や家族の幸福の実現につながる好循環を生み出していく必要がある。
- 新たな仕事と組織のスタートによって、お客さまに近い場所で創意を發揮し、世の中に役立つサービスを創造し、新たな価値を切り拓いていくのは、変革の主役である社員1人ひとりである。
- 社員が変革の方向性を共有し、変化を恐れず果敢に挑戦することが出来るよう構造改革を力強く進めていく。
- 夏季手当の議論に関する基本的なスタンスは、会社の持続的な発展が社員還元のためのさらなる充実、働きがいの向上、社員・家族の幸福の実現につながる考えのもと、2期連続で大幅な赤字を計上しているという非常に厳しい経営環境、直面する経営課題について認識を共有することが、今夏季手当の議論の前提になる。
- 直近の業績動向を念頭に支給水準については慎重に判断しなければならない。

**要求満額獲得に向けて、職場のたたかいを積み上げよう！**